

武蔵野市の将来を考える市民会議 傍聴者アンケート

第4回 集計結果

傍聴者11名のうちアンケートに回答したのは5名

①はじめに、このアンケートに回答される方についてお尋ねします。

該当する部分を○で囲んでください。

1	市内在住	5人	吉祥寺本町、吉祥寺北町、西久保、桜堤
2	市内在勤	0人	
3	市内在学	0人	
4	その他	0人	

性別

男性	4人
女性	1人

年齢

10歳代	0人	50歳代	0人
20歳代	0人	60歳代	1人
30歳代	0人	70歳代	1人
40歳代	3人	80歳以上	0人

②今回の市民会議を何でお知りになりましたか？（複数回答あり）

1	市報	2人	
2	市ホームページ	1人	
3	友人知人の紹介	2人	
4	その他	1人	前回出席

③今回の市民会議で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。

- ・自転車活用の長所、短所についての意見交換が興味ある。歩行者、自転車に優しい町作りを希望している私としては、これらの委員の活用と市の対応を期待します。
- ・暇で孤独な老人、孤立して子育てに忙しい若夫婦、子供同士で遊ぶ時間が限られる子供、バラバラだからアンバランス。
- ・親との同居ができない人に、地域コミュニティ作れるのでしょうか？親との同居がしやすい住居施策やってないですね？家族を孤立させたら、人付き合いも下手になります。
- ・いろいろなタイプの委員がいるからおもしろいと思いました。これが全5回で終わるのはもったいない。

↓裏面に続く↓

↓表面の続き↓

- ・話し合いのフレームの第一から第三までの視点を、それぞれもう一巡して、それぞれの視点のまとめをしないと云いっぱなしのやりっぱなしで、その議論で出された大切な種を育てたり発展させたりしにくいことは、委員の参加意識を次のステップにつなげづらくなってしまうように感じました。
- ・「新たな都市像・都市文化を・・・」とは、子育て、教育だけではない。子供や親子にとってのまちづくりという視点を加えてほしかった。
- ・「歩いて楽しい、歩いて暮らせるまちづくり」については、武蔵野の次の生活スタイルにつながると思いました。それは顔の見える関係づくりに発展します。今回、暮らしや住居の課題などがあまり話されなかったことが残念です。まちづくりに暮らしや住居、その背景にある福祉や教育が重なる議論は市民会議だからできると思います。
- ・まちづくりや都市マスタープランなどに「集う」というテーマが必要ではないか？それが新しいまちの姿をあらわすと実感しました。居場所づくりも含めて、昼市内にいる方々は「孤立しやすい立場」になりやすいという点をしっかりポイントとして押さえてほしい。
- ・愛着があっても、住み続けられるまち、働き続けられるまちでなければならないことが、武蔵野のこれからの課題なのではないか？
- ・交流＝武蔵野や吉祥寺からの発信につながる。
- ・まずは大人からあいさつをしていきましょう。あいさつ＝子どもにつなげるのは・・・？
- ・在勤、在宅の方々も大切にするまちづくりが次のステップ。

④その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。

- ・縦割り、個別の深い議論も必要ですが、「そもそもなんで核家族化が進んでしまうのか？」原因を掘り下げて考えてもいいと思います。長計ならできると期待しています。
- ・市職員社宅、賛成です。ぜひ親と二世帯で入れる様な物を できればと思います。
- ・今回の参考資料（アクションプラン）は一般市民にとっては大変解りづらく、理解しづらいものだと思う。もう少し市民目線にたったの会議準備をていねいに行ってほしいです。この会議自体少ない回数で限られたものだからこそ、準備や段取りも含めて大切にしてください。
- ・話し合いのフレーム案について、第一回委員会からの委員意見要旨と行政から見る課題をうまくクロスさせて資料作成をしてほしい。議論が重複したりしてもったいないと思いました。

ご協力ありがとうございました。